

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202028

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	社会教育計画策定事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	1計画の策定		#N/A	
事業目標	策定計画数	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1	関係例規・法令名	社会教育法	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	総合計画の下位計画として社会教育計画や生涯学習推進計画が包括された社会教育中期計画を策定する。					第8次雄武町社会教育中期計画(H25～H29)の策定
計 画 事 業 費	事業費(千円)	417	0	0	0	417
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	417				417	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	111	0	0	0	111
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	111				111	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
						第8次雄武町社会教育中期計画策定委員25名
						※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				計画の策定
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	27%
		全体達成率	0%	0%	0%	27%
		事業進捗状況				☆☆☆☆

事業名	社会教育計画策定事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	策定計画数								
【抱える課題やニーズは】	町民のニーズと課題を把握し計画に反映させる必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	基本方針を明らかにし、具体的な施策を定める。	① 策定計画数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1計画	実績値	1計画	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1計画										
実績値	1計画										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民の学習機会の拡充や学習環境の整備に努める。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	第8次社会教育中期計画策定委員会設置	各関係委員及び学識経験者並びに一般公募など、25名の策定委員会を設置し、第7次計画の反省評価を基に審議を行った。									
	計画書作成	策定委員会の答申を反映した計画書を策定した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	社会情勢に見合った策定を5年に一度見直し、町民のさらなる生涯学習支援の充実を図るためにも必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	学習による成果を自ら地域のために活かすことができる施策を策定することができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	教育専門家からのアドバイスや資料提供を受け、内容の充実した計画書が完成した。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本計画は町民の生涯学習全般に係る計画となっており、町の最上位計画である、第5期雄武町総合計画の基本構想の実現のため、社会教育の観点から施策を計画として示した計画となっている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町の各計画とも整合性を図り、社会教育の観点から取り組むべき施策を計画として示すことができた。		



終了		
第8次雄武町社会教育中期計画を策定したことから、終了とする。		

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止